

2025年度大学院入試問題（2026年2月15日実施）

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期）

1 / 1
ページ / ページ中

試験科目：（ 第1外国語 英語 ） 試験時間：（ 30分 ）

How do you think AI will affect language in the future?

（受験番号

）

2026年度大学院入試問題（2026年2月15日実施）

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期） 1 / 3
ページ / ページ中

試験科目：（ 第2外国語 フランス語 ） 試験時間：（ 30分 ）

次の文章を読み、設問に答えなさい。

（受験番号）

D'après Chiss, J.-L. (2021), *Le FLE et la francophonie dans le monde*, Armand Colin, pp. 105-106.

設問：

1. 次の記述のうち、文章の内容に即したのものには○を、そうでないものには×をカッコ内に書き込みなさい。

- 文法を明示的に習うとコミュニケーション能力が早く上達することが研究によって実証されている。
- 日本のフランス語教育では、日本人教員とネイティブ教員では異なるタイプの授業を担当することが多い。
- ノン・ネイティブ教員もフランス語を完璧に習得するべきだと筆者は主張する。
- フランス語話者もフランス語の規範を意識し、言語不安を感じることもある。

2. 文中の(ア)~(オ)に入れるのに最も適した語句を、(a)~(d)からそれぞれ選び、○で囲みなさい。

- (ア) (a) qui (b) dont (c) que (d) où
- (イ) (a) plutôt qu' (b) au lieu d' (c) même si (d) avant tout
- (ウ) (a) Donc (b) Par ailleurs (c) Ainsi (d) Par exemple
- (エ) (a) parce que (b) bien que (c) pour que (d) afin que
- (オ) (a) On doute que (b) On craint que (c) On sait que (d) On refuse que

3. 文中で□に囲まれている単語は何を指していますか。文中から抜き出して書きなさい。

(a) leur (3行目) :

(b) l' (26行目) :

(c) celle (35行目) :

4. 文中の下線部を和訳しなさい。(17-21行目)

※ P3, 9, 12は解答用紙のため非公開

2026年度大学院入試問題（2026年2月15日実施）

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期）

1/12
ページ / ページ中

試験科目：（ 専門科目 言語学・必答 ） 試験時間：（ 120分 ）

I. 前期課程必答科目（一般言語学および日本語学）：

以下の A、B、C、D すべてに解答すること。

（受験番号

）

【A】人間言語の特徴である、①離散無限性（discrete infinity）、②回帰性（再帰性、recursiveness/recursion）、③構造依存性（structure dependence）について説明しなさい。

【解答欄】

【B】以下の(1)～(3)について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(1) 作用域 (scope)

(2) 真理条件 (truth condition)

(3) 部分語 (meronym)

試験科目：（ 専門科目 言語学・必答 ） 試験時間：（ 120分 ）

【C】以下の二つの問題に答えなさい。

- 1 不完全中和(incomplete neutralization)という用語について、少なくとも一つの言語から具体例を挙げて説明せよ。
- 2 英語学習者の英語母音音声を計測する実験を行うこととする。非母語話者の音声特徴を捉えるためには、どのような実験計画を立案したらよいだろうか。なるべく詳しく説明せよ。

【解答欄】

【D】

1 以下の(1)および(2)について、それぞれ日本語の具体例を1つ挙げなさい。

(1) 分裂文

(2) 主要部内在型関係節（主辞内在関係節）を含む文

2 以下の(1)および(2)について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(1) 総記

(2) ライマンの法則

2025年度大学院入試問題（2026年2月15日実施）

7/12
ページ / ページ中

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期）

試験科目：（ 専門科目 言語学・選択 ） 試験時間：（ 120分 ）

II. 前期課程選択科目（A：一般言語学、B：音声学・音韻論、C：応用言語学）：
A、B、Cのうち一つを選んで解答すること。

（受験番号）

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期）

試験科目：（ 専門科目 言語学・選択 ） 試験時間：（ 120分 ）

【A】ある語列が構成素であるかどうかを判定するテスト（構成素テスト、constituency test）のうち3つを選び、それぞれ具体的な例を挙げて説明しなさい。

【解答欄】

2026年度大学院入試問題（2026年2月15日実施）

10/12 ページ 12 ページ中

言語科学 研究科 言語学 専攻（博士前期）

試験科目：（ 専門科目 言語学・選択 ） 試験時間：（ 120分 ）

【B】日本語東京方言における母音の無声化について、具体例を挙げて詳しく説明せよ。

【解答欄】

（受験番号

）

【C】 応用言語学問題

日常の言語使用で次のような現象がよく見られる。

- 語彙や文法の複雑さがほぼ同じでも、読みやすい英文と読みにくい英文がある。
- 同じ英文でも、読む時期や状況によって理解の深さが変わることがある。
- 英語力が高い学習者より、初級～中級の学習者の方が内容をよく理解している場合がある。

これらの現象を踏まえ、人間の言語理解において言語知識以外にどのような要因が関わっていると考えられるかを説明しなさい。その上で、この点が英語教育にどのような示唆を与えるかについて自分の考えを述べなさい。

【解答欄】